

ADS-BT for Revit Ver13.02 修正項目

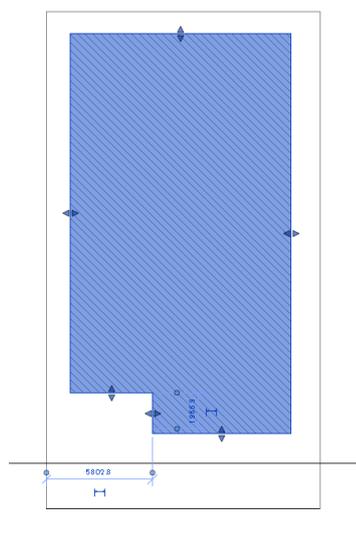
ADS-BT for Revit Ver13.02 (Revit2024 対応版) (以下、本システムといいます) における修正項目は以下の通りです。

[1] 天空率空間計算機能搭載

敷地内に想定配置エリア (塗潰領域) の作成のみで、天空率 (道路斜線/隣地斜線) にクリアする建築可能空間を算出する機能を搭載しました。(Light 版にはありません)
弊社独自のアルゴリズムによる空間算出となっており、条件によっては算出ボリュームに偏りが出る可能性があります。天空率を利用したプランニングにおける“あたり”をつけるツールとしてご利用ください。



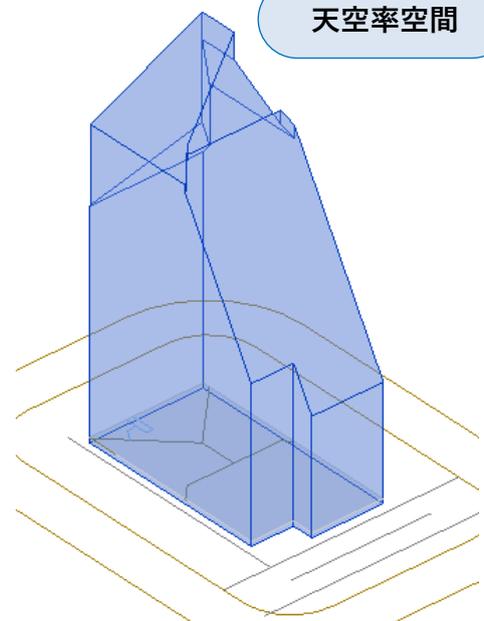
※「ADS-BT(計算)」パネルにメニューが追加されました。



想定配置 (基本) エリア作成・選択

※塗潰領域で作成

計算実行



天空率にクリアするボリューム

※本機能は、昨年リリースしたオリジナル製品「天空率空間」の簡易機能となります。

[2] 境界線条件 設定内容の追加

※ADS-win と同等

- 天空率解析/簡易設定/方式編集内にある、入隅・グループ設定（判定角度）の項目を境界線条件内に移動しました。
 - 入隅・グループ設定（判定角度）を道路斜線・隣地斜線別に設定できるようになりました。
 - 斜線計算及び天空率空間計算用として、境界線のグループ化設定機能を追加しました。
- ※上記は何れも「ADS-win Ver10.01.005」と同等機能となります。

| 項目名 | 内 容 |
|----------|---|
| ①グループを設定 | 「条件設定」の設定内容を元にグループ設定を自動で行います。斜線計算で使用する設定となります。 |
| ②条件設定 | 入隅及びグループ判定時の判定角度を設定します。斜線計算及び天空率解析（領域自動処理）で使用する設定となります。 |
| ③グループ | グループ設定を手動で行います。「グループを設定」結果が反映されます。斜線計算で使用する設定となります。 |

※入隅及びグループ判定角度は、斜線制限毎の設定を可能としました。



[条件設定]

※角度判定を境界線条件（条件設定）への移動により方式編集を変更しました。



[3] 天空率解析/初期化

※ADS-win と同等

○天空率解析/簡易設定/初期化で、斜線制限単位の初期化を可能としました。

[4] 天空率解析/道路斜線 「前面考慮」 処理変更

※ADS-win と同等

○道路斜線の天空率における壁面後退距離手前の建築物及び地盤のブロックの算定方法の切り替えが可能となりました。

※前面考慮の設定は

- ・ 天空率/簡易設定/条件設定
 - ・ 天空率/境界条件/条件設定
- にあります。

- ・ 新規作成時 → 「計画のみ」
- ・ 既存データ → 「適合・計画」 となっています。

| 前面考慮 | 処理 |
|-------|--|
| 無 | <ul style="list-style-type: none"> ○後退距離手前の建物（計画建築物のみの影響） <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画→非算入 ○後退距離手前の地盤（道路高マイナスに伴う） <ul style="list-style-type: none"> ・ 適合→非算入 ・ 計画→非算入 |
| 適合・計画 | <ul style="list-style-type: none"> ○後退距離手前の建物（計画建築物のみの影響） <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画→算入 ○後退距離手前の地盤（道路高マイナスに伴う） <ul style="list-style-type: none"> ・ 適合→算入 ・ 計画→算入 |
| 計画のみ | <ul style="list-style-type: none"> ○後退距離手前の建物（計画建築物のみの影響） <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画→算入 ○後退距離手前の地盤（道路高マイナスに伴う） <ul style="list-style-type: none"> ・ 適合→非算入 ・ 計画→算入 |

※この作業は、原則として方式選択による算定領域自動生成後の修正として行います。方式選択には反映されません。

[5] 天空率/グループ 設定項目の変更

○グループ処理時の適合建築物両端の処理を始点側終点側それぞれで設定できるようにしました。
これに伴い、ダイアログ内の設定項目を変更しました。



[適合処理]

- ・グループ設定時の適合建築物の両端の処理を始点側及び終点側でそれぞれ設定します。
- ・方式選択（簡易設定）で自動生成した場合は、その結果が反映されます。



[その他]

- ・「基本処理」のレイアウトを変更しました

[6] 計算対象オブジェクトの修正

○ADS-BT で計算対象となるオブジェクトの「カーテンウォールマリオン」において、隙間部分の計算ができるようになりました。

以上